学校番号	3019

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　現代の国語　（大修館書店）						
副教材等	基本級別漢字　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章を「読む力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く力」、他者とコミュニケーションをとるための「話す力・聞く力」をしっかりと身に付けましょう。
・授業中は、板書を書き写すだけでなく、自分自身の気づきやクラスメイトの発言、授業のポイントなどを積極的にノートに書いていきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識および技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 実社会において必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の用法及び表記の仕方などを理解し、言語感覚を磨き語彙を豊かにしている。	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 聞き手や読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言葉を通して積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 ［教材］ 「『変わる』ことを楽しもう」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：人間にとって「好奇心」とはどのようなものか、筆者の考えを的確に読み取っている。 c：目的や場に応じて話したり聞き取ったりしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	コミュニケーションを上達させることに関心をもつ。 ［教材］ 「コミュニケーションは技術だ」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：コミュニケーションに対する筆者の考え方を的確に読み取っている。 c：コミュニケーションについて、自分の考えをまとめたり、深めたりしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ［教材］ 「ことばの使い分け」 「正しく書こう」「文を整え、文をつなぐ」「伝わるように話そう」	a：論理的でわかりやすい文章を書くことができる。 b[書]：場面に応じた言葉遣いができている。敬語や類義語の使い分けができる。 c：相手に伝えたいことを、わかりやすく整理している。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	順序を表す言葉や接続表現に着目して、文章の構成をつかむ。 ［教材］ 「ナンバーワンか、オンリーワンか」	a：接続表現の果たす役割を理解している。 b[読]：接続表現に気をつけて読み、説明のしかたをとらえている。 c：問題提起とその答えを意識し、文章全体の構成をつかめている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	構成や展開を考えてショートスピーチをする。 ［教材］ 「ショートスピーチをしよう」	a：自分の考えを発表したり、他者の発表を聞いたりする際の留意点を理解している。 b[話/聞]：話の構成や展開を工夫して話すことができる。 c：声の大きさや話す速さ、表情や身振りなどを意識して話すことができる。	スピーチ	スピーチ 行動の観察 (ノート・発表など)	スピーチ 行動の観察 (ノート・発表など)
	筆者の主張を読み取り、生命に対する認識を深める。 ［教材］ 「生きることと食べることの意味」	a：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]：筆者の問題提起の内容を理解し、筆者の主張を的確に読み取っている。 c：「食べることの意味」について、自分の考えを深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
2学期	伝わる説明のしかたについて考え、実践する。 ［教材］ 「絵や写真を説明しよう」	a：適切な表現技法を理解している。 b[書]：絵や写真などの情報を説明する文章を書くことができる。 c：表現が適切であるか、推敲を重ねている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	情報を整理しながら聞き取る。 ［教材］ 「聞き取りのレッスン」	a：情報を取捨選択し、整理・記録するための基本的な技術を身に付けている。 b[話/聞]：必要な情報を意識して、メモを取りながら聞くことができる。 c：聞くことの重要性を理解し、自分の聞き方に活かそうとしている。	聞き取り	聞き取り 行動の観察 (ノート・発表など)	聞き取り 行動の観察 (ノート・発表など)

	具体と抽象の関係をとらえ、主張と根拠を見つける。 ［教材］ 「水の東西」	a:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。 b[読]:「噴水」に関する筆者の考えを、「鹿おどし」と対比する形で理解している。 c:身近な水を通して、日本と西洋のものの見方や考え方の違いについて、理解を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	表現を工夫して POP を作り、本を紹介する会を開く。 ［教材］ 「本の POP を作ろう」	a:POP の必要性を理解している。また、作成の際の留意点を理解している。 b[書]:文字の大きさ、形、色や表現を工夫して POP を作ることができる。 c:どうすれば相手の心をつかむことができるか考えながら、POP を書こうとしている。	POP の作成	POP の作成 行動の観察 (ノート・発表など)	POP の作成 行動の観察 (ノート・発表など)
	ユニークな発想・視点の鋭さに触れる。 ［教材］ 「ももこのいきもの図鑑」	a:ユーモアに富んだ文章を読むことに関心をもっている。 b[読]:擬人的な表現や誇張した表現など、表現上のおもしろさを味わっている。 c:教材文のおもしろさについて、自分の考えを深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	相手の気持ちに寄り添った適切な話し方をする。 ［教材］ 「対話のレッスン」	a:相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。 b[話/聞]:ことばの性質やことばと人間とのかかわりについて理解している。 c:コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを知り、対話に活かすことができる。	行動の観察 (グループ活動)	行動の観察 (グループ活動)	行動の観察 (グループ活動)
3学期	意見文の基本的な書き方を学び、執筆する。 ［教材］ 「意見文の基礎を学ぼう」	a:意見と理由を備えた意見文を書くことができる。 b[書]:意見文の基本的な書き方や構成について理解している。 c:自分の意見をわかりやすく伝えるための工夫をしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	暮らしの中にある、さまざまな表現に注目し、その特性や効果について考える。 ［教材］ 「情報の力関係」	a:「メディア」という語句の意味を的確につかみ、教材文の文脈の中で理解している。 b[読]:社会生活の中での情報の力関係について考えを深めている。 c:メディアと情報の力関係について、考えを深めている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	企画の詳細を考え、企画書をまとめる。 ［教材］ 「魅力的な企画書を書こう」	a:よい企画書とはどのようなものか、理解している。 b[書]:テーマと内容を工夫して、効果的な企画書を作成できる。 c:自分が伝えたい情報が、わかりやすく伝わるよう、準備・工夫をしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	発表資料を用意し、プレゼンテーションをする。 ［教材］ 「プレゼンテーションをしよう」	a:優れたプレゼンテーションとはどのようなものか、理解している。 b[話/聞]:さまざまな資料を効果的に活用して発表することができる。 c:聞き手にわかりやすい発表になるように準備している。	行動の観察 (ノート・グループ活動など)	行動の観察 (ノート・グループ活動など)	行動の観察 (ノート・グループ活動など)

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20）時間

・書くこと　…　（　30）時間

・読むこと　　…　（　　20）時間